

横浜市立大学 都市社会文化研究科・国際教養学部 ジェンダー研究会 司会＝山崎 和美

横浜市立大学都市社会文化研究科の教員たちは、多様な分野・専門を有しています。学際的な本研究科の教員や院生が、分野横断的に交流できるテーマの1つとして、「ジェンダー」を取り上げ、このテーマを通じた本研究科の教員・研究員・院生・学生間の学術交流を目的に、2021年8月に国際教養学部と合同でジェンダー研究会を立ち上げました。2021年度は言語学・心理学・イスラーム地域研究・文学での研究会を実施しました。2022年度はまちづくり、国際法、イスラーム地域研究での研究会を実施しました。2023年度以降も継続して研究会を実施していく予定です。

第1回 “Linguistic Tactics and Strategies of Marginalization in Japanese”

2021年10月7日(木) 18:00～19:30 オンライン (Zoom) 実施

佐藤 響子先生 “The Struggle Against Hegemonic Femininity: The Narrative of a Japanese Actress”

土屋 慶子先生 “Epistemic Primacy and Self/Other-Marginalization in a Parliamentary Debate: A Case Study of Female Japanese Politicians”

第2回 「家族する」男性たち：心理学の視点から

2021年11月18日(木) 18:00～19:30 オンライン (Zoom) 実施

大野 祥子 先生 「男性の働き方と家庭関与：育児期男性が働き方を変えるとき」

平井 美佳 先生 「乳幼児の父親におけるパンデミックによる働き方の変化と家族」

第3回 「イスラーム世界の女性たちと日々の生活：結婚・装い・美容」

2021年12月26日(日) 17:00～20:00 オンライン (Zoom) 実施

森田 豊子 先生 (鹿児島大学) 「イランの女性と結婚」

後藤 絵美 先生 (東京外国語大学) 「ヴェールの流行とファッション化」

野中 葉 先生 (慶應義塾大学) 「インドネシアのハラール化粧品」

第4回 「ジェンダーと文学：近現代欧米の例を手がかりに」

2022年3月10日(木) 18:00～19:45 オンライン (Zoom) 実施

平松 尚子 先生 「フランスにおけるフェミニズムの展開と文学理論」

中谷 崇 先生 「John Updike の Rabbit Saga における「男性主人公の子育て」と冷戦期アメリカの先行テキスト」

速水 淑子 先生 「アマゾネス像とジェンダー規範：18/19世紀転換期ドイツ語圏文学を中心に」

第5回 「まちづくりとジェンダー」

2022年7月28日(木) 18:30～19:45 オンライン (Zoom) 実施

石川 永子 先生 「災害後の避難生活・仮住まい期に配慮が必要な方の支援に関する研究と実践」

三輪 律江 先生 「こどもの育ちとまちとの関りを主軸にした実践的調査研究におけるジェンダーの視点」

第6回 「国際法とジェンダー」

2022年12月15日(木) 18:30～19:40 オンライン (Zoom) 実施

瀬田 真 先生 「国際法と女性差別：学生の気づきの契機に」

第7回 「中東地域の現状と今後：イラン・アフガニスタンの女性／トルコ・シリア大地震が世界に与える影響」

2023年3月28日(火) 9:20～14:00 オンライン (Zoom) 実施

森田 豊子 先生 (鹿児島大学) 「現在のイラン情勢と女性をとりまく状況」

青木 健太 先生 (公益財団法人 中東調査会) 「ターリバーン政権下のアフガニスタンと女性をとりまく状況」

金子 真夕 先生 (公益財団法人 中東調査会) 「大地震がトルコに与えたインパクト——内外政の視点から」

金谷 美紗 先生 (公益財団法人 中東調査会) 「地震後のシリア情勢と地域国際関係の変化」

石川 永子 先生 「震災後の災害支援と女性」